

目標達成計画

作成日: 平成31年3月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画において、アセスメント・具体的ケア計画はできているが、意欲向上に繋がる計画になっていない。また計画内容が職員全員が把握できていないことがある。	入所者・家族・職員が達成感を味わえる介護計画を立案する。 部門ミーティングで介護計画を理解し、職員全員が介護計画に基づいて介護ケアを提供する。	いままで同様、転倒防止のリハビリを日々の生活の中に取り入れ、keizokulにして実施する。 職員間で情報を交換・共有して入所者の笑顔が見えるケアを提供する。	12ヶ月
2	30	現在、月2回協力医の往診、その他に月1回の皮膚科、依頼時の歯科の往診がある。 最近足の爪のトラブルが多い。巻き爪などは専門医に爪切りを依頼している。受診時かぞくに同行してもらうため、なかなか受診できない。	必要時、往診が受けられ、入所者の体調管理を怠らない。 入所者が楽しく今の生活が長く送れる。	法人内の整形外科(フットケアの専門医)の往診が可能になるよう働きかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。